

2024年4月より
稼働開始した
中継施設

Highlight_1

大阪府泉北郡忠岡町での
地域循環共生圏構築が進捗

熊本県上益城郡5町、兵庫県相生市、大阪府泉北郡忠岡町の3エリアで公民連携協定を締結し、地域循環共生圏の構築を進めています。

大阪府泉北郡忠岡町では、新たな廃棄物処理施設(仮称:地域エネルギーセンター)の整備に向けた準備が進行中です。先行して中継施設を整備しており、地域エネルギーセンターが完成するまでの間、大栄環境グループの既存施設において忠岡町の一般廃棄物の受け入れが始まっています。

Highlight_2

災害への備えで
支援する自治体が増加

自然災害が多発している近年、災害廃棄物の処理に関して多くの自治体が課題やニーズを抱えています。大栄環境グループは発災後の速やかな処理体制を整える支援のために、自治体と協定を締結しています。2024年3月期末時点で、災害支援協定を締結した自治体は176カ所に達しました。

さらに、愛知県高浜市の一般廃棄物(ごみ)処理基本計画改定や、大阪府池田市の災害廃棄物処理計画策定など、2024年3月期に8自治体の一般廃棄物に関わる計画策定を支援し、累計支援実績は27自治体となりました。

山口県周南市との
災害支援協定締結式次世代ビジネス
リーダー研修

Highlight_3

次世代ビジネスリーダー研修を
再開、女性活躍も前進

企業の持続的成長に向け、「創造・改革・挑戦」を実践できる人財の育成を推進しています。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で3年間実施できなかった次世代ビジネスリーダー研修を再開し、初級・アドバンス・上級の各コースで計78人が研修を受けました。

また、職場環境の整備を含め、女性の活躍推進にも積極的に取り組んでおり、2024年3月期の新卒採用における女性比率(4年制大卒以上)は36.8%(前期比10.1%増)となりました。



Highlight_4

スポーツチームの運営や商業施設開業を通じて地域との信頼関係を構築

大栄環境(株)は、2024年3月1日にWEリーグ所属の日本女子プロサッカー клуб「INAC神戸レオネッサ」を運営するアイナックフットボールクラブ株式会社の全株式を取得し、連結子会社化しました。

「INAC神戸レオネッサ」は、2001年に創設され、地元神戸市および兵庫県でスポーツコミュニティの中心的存在として成長してきました。地域密着のコンセプトをさらに深化させるため、2004年4月には特定非営利活動法人に、2010年には株式会社化しました。この「INAC神戸レオネッサ」との連携を通じて、大栄環境グループは地域社会との結びつきを強化し、青少年の育成、スポーツ文化の振興、そして地域経済の活性化に寄与することを目指します。また、サッカーを通じて青少年の健全育成や生涯スポーツの推進を目指すため、現在、約260人の青少年に指導しています。この取り組みは、大栄環境グループ

のブランド価値と知名度向上にもつながると考えています。さらに、女子サッカーの普及とジェンダー平等の推進にも注力します。試合だけでなく地域イベントへの積極的な参加や、女性スポーツ選手のセカンドキャリア支援、女性の活躍促進など、多岐にわたる取り組みを展開します。

また、大栄環境(株)が所有しグループ本部も入居している複合ビルにおいて、2024年3月1日に「ROKKO i PARK」をオープンしました。「わたし(i)」が主役となり、「まるで公園のように多くの人々が触れ合う場所」を施設コンセプトとしており、食品スーパーやドラッグストアから、専門的な工具ショップまで多くの店舗が地域の皆さまに利便性を提供します。さらに同ビル内の「Kobe Green Field」では、神戸のスポーツの歴史や地元プロスポーツチームに関する展示

を通じて、訪れる人々に「神戸」と「スポーツ」のつながりを学ぶ機会を提供しています。これにより、地域のスポーツ文化への理解と親しみを深める場を提供しています。

大栄環境グループは、今後も地域に根ざして、地域に貢献し、皆さまとの信頼関係を育んでいきたいと考えています。

Photo by INAC KOBE
LEONESSA



INAC KOBE
SINCE 2001

I NTELLIGENCE 知性
N ATURE 天性
A TTRACTION 魅力
C OMMUNICATION 意思疎通

